

県職員向けに実施する情報保障アンケート（案）

- 方法：県職員がほぼ毎日使用している「県庁内ホームページ」のアンケート機能を活用
- 時期：今年 8 月ごろ（アンケート期間は 3 週間程度）
- 質問内容： □は複数回答 ○は一つのみ回答 []は自由記述

Q1 あなたの現在の所属を教えてください。

[]

Q2 あなたが現在担当している業務の状況としてあてはまるものをすべて選んでください。

- 窓口業務や訪問などで県民の方と接している
- 県民の方からの電話を日常的に受けている
- 県民の方からの文書を日常的に受けている
- 県民の方が参加する会議・イベントなどを開催することがある
- 県民の方向けの文書（広報紙・通知など）を作成することがある
- 業務でウェブページを作成することがある
- 業務で映像資料を作成することがある
- 上記のどれにも該当しない

Q3 あなたがこれまで経験した中で、障害のある人から情報のやりとりにあたっての配慮を求められたことがあればお答えください。

☆どの職場で（過去の所属での経験でも構いません）

[]

☆どのような配慮 《》内は配慮が求められる障害

- 筆談での対応《聴覚》
- 代筆・代読《視覚》
- わかりやすい表現（絵や図の使用、難しい言葉や二重否定を使わない）《知的》
- 手話通訳の用意《聴覚》
- 要約筆記の用意《聴覚》（※他の人の発言をノートやスクリーンに文字で書き表す）
- 文書の点字版・拡大文字版の用意《視覚》
- 文書のテキストデータ・音声データの用意《視覚》
- 文書のふりがな入り版の用意《知的》
- 障害に合わせた席配置（例：板書や手話、要約筆記が見やすい）《視覚・聴覚等》
- 落ち着ける場所、騒がしくない場所での対応《視覚・聴覚・知的・精神・発達等》
- その他 []

Q4 Q3 で求められた配慮に対応できましたか。(複数事例がある場合には、Q6 の回答欄も活用してください)

- 対応できた
- 当事者と相談した結果、別の手段で対応できた
- 対応できなかった
- 対応できたケースもできなかったケースもある

Q5 Q4 で対応できなかったと答えた方にお聞きします。その理由として当てはまるものをすべて選んでください。

- 準備・対応するための時間が足りなかった
- 費用がかかるが、予算がなかった
- どのように配慮すればよいかわからなかった
- どこに依頼すればよいかわからなかった
- 施設や備品の構造上不可能だった
- 何かあったときに責任が取れないと思った
- 対応する必要があると思わなかった
- その他 []

Q6 Q3 から Q5 で回答した以外に、求められた配慮に対応する上での課題について意見や疑問があればご自由にお書きください。

[]

Q7 マニュアルやガイドラインにどのような記載があれば、障害のある人への情報保障がより充実できると思いますか。

[]